

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		保育所における読書活動の推進					所管	教育委員会 児童保育課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	32	計画事業名	就学前施設における読書活動の推進			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 5 就学前教育の推進					[事業開始] 平成 25 年度 [終了予定] - 年度				
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕		なし						
	事業対象	直接の対象 : 区立保育園(認定こども園・東上野乳児保育園を除く)に在園している乳幼児 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	台東区幼児教育共通カリキュラムに基づき、読書活動を推進し、子供たちの心を豊かに成長させる。									
	事業内容 [H30年度]	各区立保育園に絵本等を配備し、読書環境を充実させ、子供の発達段階に応じた教育・保育を着実に行う。									
	委託の有無	なし	委託内容		なし						
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度 目標値	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績 目標値 達成率				
	活動指標	区立保育園数	園	10	10	10	10	10	100.0%		
	成果指標	1園あたり図書購入数	冊	100	150	156	180	150	120.0%		
	決算額 (単位:千円)					H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				892	838	882			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				1,496	1,493	1,490			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0			
		総経費				2,388	2,331	2,372			
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0			
一般財源(区負担額)				2,388	2,331	2,372					
課題及び今後の進め方	絵本等に親しむ環境の充実には保育園だけでなく、家庭への貸出を実施しているが、利用者が固定していることもあるので、多くの保護者が利用できる環境を整備していく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	絵本等の読み聞かせの体験が、子供達の主体的な学びの力、心を豊かにすることにつながる。また、幼児教育共通カリキュラムに取り上げられている絵本を揃え、活用することは、就学に向けた円滑な接続になる。								
	効率性	3	コストに大きな増減はないが、読書活動が推進されており、情操教育効果を高めることにつながっている。								
	手段の適切性	4	読書環境を充実させるとともに、絵本等の貸出しの利用を多くの保護者が利用ができるように進めている。								
目的達成度	3	おおむね計画通り整備しており、読書活動を通じて、子供たちの心を豊かに成長させることに貢献している。									
【総合評価】 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
絵本等の適切な配備により、読書活動を推進することで、子供の豊かな感性を育み、幼児期の保育・教育活動から小学校教育への円滑な接続になっている。絵本の貸出しが特定の保護者にならないように、貸出し時間の見直しや、利用者を分析して多くの保護者が利用できるように絵本の入れ替えや購入を適切に実施していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			